

株式会社ピーシー・ブレイン 047-311-6677

☆今月のメニュー

□緊急特集

ヤフーの Google エンジン採用

検索エンジンスパムの実例

Google は検索エンジンの中でもスパムと呼ばれる不正行為あるいはやりすぎたSEO対策には非常に厳しくなっています。

どんな行為がスパムとみなされやすいのか具体的に紹介します。

キーワードの詰め込みすぎ
ページ内にキーワードが多い方が良いという情報を鵜呑みにした結果、不自然なまでに詰め込んでしまうケースがあります。本文だけでなく、メタタグや画像の説明(ALT)といったタグについても同様です。読んで違和感の無い程度に抑えましょう

被リンクの大量取得
ページ自動生成ツールや、SEO 業者のサービスによって関連のないページから広告記事など紹介文を伴わない、単なるリンクを急激に増やすのは非常に危険です。ペナルティを受ける典型的なパターンです。

リンクファーム
グループ内で相互にリンクを張ることで被リンクを得るような方式で、リンクが循環しているように見えます。検索エンジンが評価するのは、自然なリンクなので、このような人工的なリンクはやはりペナルティの対象となる可能性がとても高いです。また、自分にそのつもりなくてもリンクファームに加わっているケー



この夏は、例年にない猛暑、いや酷暑といった方が良いような日が続いています。米国在住の友人も、いまの日本はグアムよりも暑い！と表現するくらいかなり高温化しています。まだまだしばらくは、厳しい残暑が続くようなので体調を崩さないようにしたいところです。こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。さて、ホームページの活用方法を中心とした「WEB マーケティングのヒント」というタイトルで、今月もお役に立つ情報をお届けいたします。

緊急特集 ヤフー のGoogleエンジン採用

7月27日に、日本のインターネット業界をあっと驚かすような発表がありました。

その際のヤフーのリリースでは、次のように書かれています

「検索エンジン(インターネットに存在する情報を検索する機能)」と、「検索連動型広告配信システム(検索キーワードに連動した最適な広告を検索を利用されているお客様に配信するシステム)」をGoogle Inc. (米国カリフォルニア州、米ナスダック上場、以下「グーグル」)のエンジンおよびシステムに切り替える

<http://pr.yahoo.co.jp/release/2010/0727a.html>

ヤフーが検索サービスに、Google の検索システム・エンジンを利用するというものです。

実はこれよりもずっと前に米国のYahoo!は、マイクロソフトの「Bing (ピング)」という検索エンジンに切り替えることを発表していました。※8/25 の段階で米国 Yahoo!は Bing への移行を完了したようです。

この発表があったため、日本のヤフーでも同じようにマイクロソフトの Bing が採用される可能性が高いだろう国内のインターネット・SEO 業界では推測されていました。。

ところが、実際には予想されていた Bing ではなく Google を選択したことが、インパクトのあるニュースとして伝えられているのです。

これについては、

「Bing も候補として真剣に検討したが、日本語化の準備が十分整っているという判断ができなかった」

と説明しています。ヤフーとしては総合的な判断を行った結果として、最終的に選択しなかったということなのです。

ということで、SEO については6月のニュースレターでも書いたのですが、今回改めて二大検索エンジンについて取り上げます。

ヤフーの何が変わるのか？

今回の検索エンジンの変更によってヤフーにはどのような変更があるのでしょうか。

ヤフーの発表によれば、変更となる箇所は、

「ウェブ、画像、動画、モバイルの4領域」

となっています。

▼変わらないこと

ヤフーの検索サービスといっても、ご存じのように単純にウェブ検索の結果だけではありません。周辺地図、グルメ情報・レビュー、ニュースの関連情報、知恵袋の回答や、ショッピングの情報が表示されるケースもあり、これらの表示は Google にはないオリジナルなものとして、今後も Yahoo!の検索結果として表示されます。

また、広告については、

「検索連動広告のシステムも Google のものを採用するが、ヤフーの検索連動広告スポンサーサーチと、Google の AdWords は統合されない」

と説明されています。

▼変わること

一方、ウェブ検索の結果、つまり検索順位については、

「最初はおそらくグーグルとまったく同じになるだろう」

という見解を示したうえで、その後、時間をかけて調整を加えていくことになると述べています。

提供元変更による影響範囲

Yahoo! JAPAN検索結果画面



提供元変更による影響範囲



株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

電話番号

047-311-6677

Fax

047-311-6678

E-mail

info@pcbrain.co.jp

営業時間:

9:00～17:30

地域で一番ネットを使った商売に
詳しいコンサルティング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リニューアル
- WEB システム開発



当社 Web サイト

URL:
http://www.pcbrain.co.jp
http://www.webquick.jp



検索エンジンとしてのGoogleの特徴

検索エンジンシステムにはそれぞれ特徴があります。
これまでのヤフーのYSTと呼ばれる検索エンジンと比べて、Google の特徴としては、

- ・ ホームページを公開してもすぐには上位表示しにくい
評価されるまでにある程度の時間を要する
- ・ ヤフーで効果のあったスパム的な SEO 対策が通じない（現在のヤフーでは効果がある）
- ・ 検索エンジンのペナルティが厳しい
不正行為と認定された場合、6 か月～1 年は復帰しない

といった SEO 対策上留意すべき事項がありますが、次のような特徴もあります。

- ・ コンテンツのボリューム（ページ数、テキスト量）の評

価点が比較的高い

※ただし、ホームページのテーマと関連制のあるコンテンツであることが前提です

- ・ 被リンクの評価・影響が比較的大きく、トップページの評価にも影響を与える
- ・ 人工的ではない自然なリンク（ナチュラルリンク）の評価が高い
- ・ ドメインの経過年数（ホームページの年数）も評価対象となっている

検索エンジン対策を考える上では、このような特徴をしっかりと理解しておく必要があります。

SEO対策への影響、そして準備を

現時点では、ヤフーの検索エンジンが切り替わる日程は確定していませんので、しばらくはこの状態が続くかと思えます。

ですから今後は、Google の SEO 対策を中心にシフトしていく必要があります。

具体的には次のようなステップで準備しておくのが良いでしょう。

1. 現状の把握
2. 課題の抽出
3. 対策の立案
4. 対策の実施
5. 対策効果の測定と改善

そして、これらの一連ステップをサイクルとして回して効果が現れるま

で繰り返すことが、重要です。

このステップでのポイントとなる点をいくつか挙げます。

まず、現状の把握では、検索結果をチェックしますが、Google での順位がヤフーより悪くなっているようだと注意が必要です。
Google 向けの対策が十分ではない可能性があります。

Google での評価が低い場合には、課題を洗い出します。
被リンクの質と数が不足しているケースのほかに、ヤフーでは有効だが Google にとってはスパム判定される可能性のある手法を利用している場合は要改善です。

Google 向けの対策は、被リンク数を増やすことを含めて、テーマとキーワードの整合性など基本的な対策が中心になります。また、コンテンツが不足している場合は、追加・修正の計画をたてます。

このタイミングでは具体的な作業をリスト化しておくとう良いでしょう。

以降は、リストに基づいて、優先度をつけて対策を実施してゆきます。

この際、自分でできないことは、社外の専門家に協力してもらうほうが、効率良くそして、効果的に作業が進められるので、外注も検討してください。

継続的な対策をするためには・・・

SEO 対策（検索エンジンでの上位表示）においては、ますます被リンクの品質と数（サイトの人気度）を増やす事が重要となってきます。

そして、こうした SEO 対策は継続が命です。

専門業者に依頼して SEO 対策を施してもらっても、その後何も手を入

れないでほったらかして置くと、徐々に検索エンジンの表示順位が下がっていきます。

気付いたら 3 ページ目以降に順位が落ちていた！ などとならないように、せめて、相互リンク先を増やす努力だけでもスグに始める事をおすすめ致します。

この点、当社の WEB-KOMON や WebQuick サービスをご利用いただいている会員様のホームページは、当社が継続的 SEO 対策（被リンク取得）を代行していますので、SEO 効果の維持、向上する状態が保たれていますので安心です。

まずは、お気軽にお問い合わせくだ

ニュースレターを読んだ感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい！
→ FAX:047-311-6678 / 電子メール: info@pcbrain.co.jp

株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者: 高山卓巳
〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-2-6 勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp

